

(メッセ海外通信 2007年10→12月号掲載記事)

## ～韓国サンドイッチ論～

下関市総合政策部国際課  
(釜山広域市派遣職員)  
久保 伸子

東アジアの隣国同士として、日本・韓国・中国は経済協力、文化交流などが盛んに行われる一方、お互い何かと比較される間柄でもあります。日本でも、ものづくりの技術力で韓国に追いつかれたただの、GDPは15年後には中国に追いつかれ20年以内に抜かれるだのという経済の話題をよく耳にしますが、韓国では、地理的に日中両国に挟まれ歴史的にも苦い経験をしてきたからか、3国一緒にさまざまな点で比較するケースが多いようです。

### ■韓国は具

2007年1月、サムスン電子の李健熙(イ・ゴンヒ)会長が全国経済人連合会の会議の席上で、「中国が追い上げ、日本は先を行くという状況下で、韓国はサンドイッチ状態に甘んじている」と発言しました。韓国経済が日中の中でサンドイッチになる危険性については、過去にも指摘されたことはあります。しかし、李会長のこの発言以降、高効率・先端技術の日本と低費用の中国の間に挟まって、経済はもちろん外交・安保、教育、文化など多くの分野について身動きの取れない韓国を、さまざまな人がサンドイッチの具に例え、2007年を通して話題となりました。韓国に暮らしていると、自然、日本と韓国の比較をすることが多くなります。と同時に、大陸で地続きである中国の存在も、日本でより強く感じるのも確かです。中国から直に飛んで来る春の黄砂(春の雨にはあたらないうがよいよ、とアドバイスを受けました)。どの大学にもあふれている中国人学生の数は、最近増えているとはいえ日本にいる中国人学生の比ではありません。

### ■パンと具、どっちがおいしい?

2007年10月末に、日中韓の10都市で作る東アジア経済交流推進機構の会議が韓国・蔚山広域市で開かれ、参加する機会がありました。面白かったのは3国の違いです。自分の都市を売り込もうとひたすら宣伝する中国。実のある方向性を具体的に探ろうとする日本。その間(やや日本に近い位置ですが…)にある韓国。「中国ほど〇〇ではなく、日本ほど△△でもなく、韓国はちょうど良い」と真顔で言う韓国人の人もいます。〇〇や△△には否定的な言葉を当てはめてみれば、これが成立する場合も確かに多いように思います。また、先の李会長のサンドイッチ論のように、〇〇や△△に肯定的な言葉を入れれば「韓国は板ばさみだ」ということになります。



東アジア経済交流機構執行委員会開催  
(2007年10月31日、蔚山広域市)

韓国でサンドイッチ論がかまびすしいのは、日中両国に対し強い危機感を持つと同時に、両国から大いに学ぶべきと考えているからではないでしょうか。サンドイッチの具がいつパンになるか、パンがいつ具になるか、日本ももっと危機感を持つて良いように思います。